

## 左官 の すすめ

### 第1回 左官職人が行う DIY 型リノベ

#### 「DIY 型リノベを仕事にすること」

金澤 萌

金澤 萌 プロフィール

1983年生まれ。ものづくり大学を卒業後(有)原田左官工業所に入社。小林左官工業所を経て、2013年にmarumo工房として独立。広島県廿日市市と埼玉県草加市の2拠点で活動



私が左官に出会ったのは、ものづくり大学の授業です。壁を平らに塗ることはとても難しかった一方、鏝(コテ)で模様を付けながら壁を塗ることがとても楽しかった。壁を塗る難しさと塗った人の個性が壁に出る。その作業の面白さに魅力を感じ、卒業後は左官の道へ進みました。

私は「左官を身近なモノへ…」を目指して活動しています。左官は昔からある技術にも関わらず知らない人が多くいます。左官を知ってもらうためには、左官作業を気軽に楽しんでもらうことが必要と考え、左官のDIY型リノベーションを始めました。プロと一緒に作業をすることで、DIY左官を取り入れるハードルが下がり、その現場にあった施工手順を踏むことができます。DIY左官の場が増えることで左官を知るきっかけにもなります。また、DIY左官に挑戦することで、左官の技術のすばらしさ、難しさを理解してもらえ、プロに任せるところとDIYとの住み分けもできます。

今ではDIY型リノベで施工した現場が100件を超えました。どの現場も、ご家族やお友達と一緒に楽しみながら左官作業をしている様子がとても印象的です。皆さんもDIY型リノベーションに左官作業を取り入れ、一緒に左官を楽しみませんか？

※次回は、「左官材料の選び方」です



## 左官 の すすめ

### 第2回 左官職人が行う DIY 型リノベ

#### 「左官材料の選び方」 — 漆喰や土、珪藻土の選択の仕方 —

金澤 萌

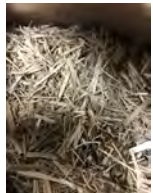
左官の仕上げ材料には、昔ながらの土や漆喰、珪藻土、樹脂系、DIY向けに開発されたものなど、様々な種類の材料があります。左官材料を検討するとき、「なぜ左官仕上げにするのか」を考えたうえで、目的に合った材料を選ぶことが大切です。



本漆喰の素材(銀杏草、石灰、すざ)



本漆喰練り  
(混ぜ合わせた状態)



わら  
(土壁に入れるもの)

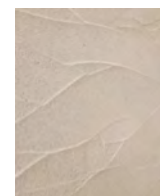


真砂土  
(粒のサイズを揃える)

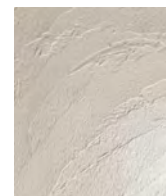
例えば、自然素材の空間に仕上げることが目的の場合は、土や漆喰を選びます。洗面室などカビが発生しやすい部屋は、強アルカリ性である漆喰をお勧めします。調湿効果をうたう材料としては珪藻土が有名です。しかし、珪藻土の施工は窓のある換気ができる部屋にお勧めします。換気のできない部屋や家具で覆ってしまう壁面に珪藻土を施工すると、吸湿した水分の放出が難しくカビが生えやすい壁になってしまいます。

左官の鏝模様仕上げが目的の場合は、樹脂材料やDIY向けの材料も候補になります。自然素材の材料の場合は下塗りなど重要な作業工程が増えます。しかし、DIY向けに開発された材料には下塗り工程が省けるものもあります。これらの材料はまっ平な仕上げはできませんが、鏝で模様を付けてラフな左官仕上げの質感を出すことができます。

左官仕上げにする目的を考えて材料を選ぶことで、より理想の空間にすることができます。※次回は、「DIY左官の進め方」です



珪藻土  
(塗りっぱなし模様)



漆喰  
(塗りっぱなし模様)

## 左官 の すすめ

### 第3回 左官職人が行う DIY 型リノベ

#### 「DIY左官の進め方」

～イベント施工やワークショップ施工の進め方～

金澤 萌

プロフィール

1983年生まれ。ものづくり大学を卒業後(有)原田左官工業所に入社。小林左官工業所を経て、2013年にmarumo工房として独立。広島県廿日市市と埼玉県草加市の2拠点で活動



仲間とワークショップ



家族で漆喰塗り



下地をつくるワークショップ



モルタル洗い出し

左官作業をイベントやワークショップ(以降WS)で行う場合、段取りが大切です。人数、内容、使用材料、作業時間などを考えないといけません。

空間に見合う作業人数の目安は、1畳1人が基本です。例えば8畳の空間のWSは8人、6畳の場合は6人が最大人数です。空間が狭くなりすぎると作業ができないため、子供も1人と数えます。内容で注意すべき点は、WSの目的です。左官を楽しむ目的の場合は、事前に養生などは済ませ、塗るだけの状態を用意します。施工方法など経験を目的とした場合は、養生、材料練り、養生の剥がしなど、塗る以外の作業工程も一緒に行うことが大切です。

WS材料はDIY向けの材料をお勧めします。漆喰を施工する場合は、素手で触れないことを承諾していただき参加してもらう必要があります。また、材料が乾いてしまうため、左官作業は壁の途中でやめることができません。脚立との上下作業にならないように塗り始める場所を決め、参加者の経験値、休憩時間などを考慮して進めていきます。

左官作業は、実際に塗る作業よりも、それ以外の作業のほうが多くなります。壁を塗る楽しい時間と、ちょっと大変なところも経験できるWSになると、より左官を知るよい時間になると思います。

※次回は、最終回「DIY型リノベーションの可能性」です

## 左官 の すすめ

### 第4回 左官職人が行う DIY 型リノベ 「DIY型リノベーションの可能性」

～職人やアドバイザーとDIY型リノベを進めていくメリットや可能性～

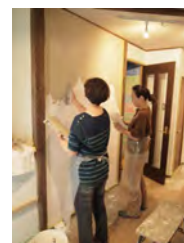
DIYマイスター 金澤 萌 (marumo工房)

昨今はDIYに関する様々な情報を得ることが可能になっています。本やSNS、動画などその情報媒体も様々です。それらを参考に、コツコツと自身のペースでDIYリノベーションを進めていくことも、もちろん問題はありません。しかし、DIY型リノベーションを、経験値のある職人やアドバイザーと進めるということは、その経験値を購入することになります。それは様々な無駄を省き、効率よく作業を進めていくことに繋がります。

まず、道具です。どのリノベーションを行うためにも必要な道具は多数あります。道具次第で作業の効率は大きく変わります。特に高額な道具の場合は、何でも購入して揃えるというのは難しく、かつ現場に合ったベストな道具を判断するには経験値が必要です。



攪拌機の使い方指導



左官ワークショップ



タイル押切体験



タイル墨出し

次に作業の方法です。現場の納め方は様々で、全く同じ条件の現場というのではありません。膨大な情報の中から同じ条件の現場の納め方を探すことは、多くの時間を費やすこととなります。経験値があれば現場に合った納め方の判断が可能になります。

経験値のある職人やアドバイザーから、学びながら一緒に作業を進めることは、今後のアドバイザーの育成やリノベーションへの興味や知識を伝えていくことに繋がります。

「左官のすすめ」は今回で終わりです